

平成27年 5月 8日

保護者の皆様へ

聖十字幼稚園

「ネイチャーランド」についてのお願い

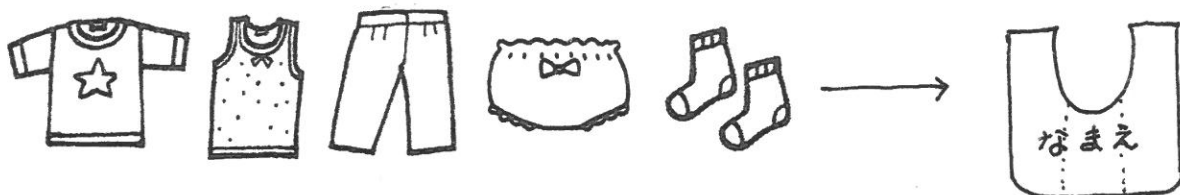
ゴールデンウィークが終わり、園庭には子ども達の元気に遊ぶ声が聞こえています。

さて、月報でもお知らせしましたが、5月より「ネイチャーランド」として利根別休養林での保育が始まります。雪が降り始める11月頃までの保育になりますが、四季折々の自然の中で子ども達の生き生きとした姿が見られるかと思えます。

林の中での活動になりますので、どうしても虫などが衣服についたりする場合があります。特に山ダニなどの虫は、体内に入ると重症になる場合もあります。園としては「ネイチャーランド」の保育が終わりますと、お部屋で子ども達の下着等も脱がせて虫が付いているかどうかの点検を先生達が行います。どうしてもその点検だけでは見落とす場合もありますので、下着から上着まで衣服の取り替えをしたいと思います。その為に、「ネイチャーランド」を行う前日までに、**着替え一式（上下の服（普段の服）・シャツ・パンツ・靴下）をビニール袋に入れて、衣服と袋に名前を書いてお子様にお持たせ下さい。**

また、「ネイチャーランド」があった日には、子ども達のご家庭に帰りましたら、もう一度頭髪の中に虫がいるかどうか、腋の下や背中などを点検していただければ幸いです。このような事を通して、子ども達が自分の体を守ることの大切さを身に付けさせていきたいと思えます。保護者の皆様にはご迷惑な事をお願いしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

※1回目は15日（金）に行う予定ですので、**14日（木）までに着替えをお持たせ下さい。**



◎マダニ

出典：フリー百科事典「ウィキペディア」

マダニ（真蟬）は、節足動物門鋏角亜門クモ綱ダニ目マダニ亜目マダニ科に属するダニの総称である。

◎特徴

感覚器を持ち、哺乳類から発せられる二酸化炭素の匂いや体温、体臭に反応して、草の上などから生物の上に飛び降り吸血行為を行う。その吸血によって、体は大きく膨れ上がる。マダニ科のダニは吸血の際に様々な病原体を伝播させるベクターとして知られる。

（媒介する感染症の代表例）

・日本紅斑熱 ・ライム病 ・重症熱性血小板減少症候群：SFTSウイルス など

◎吸血された時の対処



一度口器を差し込んだマダニは、吸血が終わるまで1～2週間程度は体から離れない。無理にマダニを引き抜こうとすると、体液の逆流を招いたり、体内にマダニの頭部が残ってしまう可能性がある。細菌感染の恐れがあるため、マダニを発見したらできるだけ早く皮膚科を受診した方が良い。また、マダニが体から自然に脱離した場合でも、マダニを捨てずに保存し、念のため皮膚科を受診すると良い。

《降園後のお家でのお願い》

園では虫チェック、着替えを行います。チェック後にリュックサック等についていたダニが、お家に帰るまでに体につく場合がありますので、お家に帰ってからも虫チェックを忘れずに行ってくださいようよろしくお願いいたします。

◎予防法

山や草むらに入るときには、長袖、長ズボン、長靴、手ぬぐい、手袋（軍手）カップ、ジャンパー（天候により）の用意をお願いします。

《園での予防策》

防虫ネット、防虫スプレーを用意しています。

マダニ

